

将来に向け 今できることに 全力を注ぐ

私は今回の研修で IAEA (国際原子力機関)、WHO (世界保健機関)、WIPO (世界知的所有権機関) の三つの国際機関を訪問して話を伺ってきました。それぞれの機関では、仕事の内容であつたり、日本人同士だけでなく外国の方と共に働くことで味わうことができる達成感など、様々なことを学ぶことができました。

この研修を通して私の中で海外で働くことに対するイメージが変わりました。外

国へ行った経験がなかった私は海外で働くことに対し、ただ「カッコいい」というイメージを持っていました。しかし、いざ向こうに行ってみると食事や設備などで日本がどれほど生活しやすい国であるか実感しました。日本という住みやすい環境の整った国で生活することに慣れてしまっていた私にも新鮮であり、少し厳しいものでした。

何にも知らずに海外に憧れていた私は日本との違いに圧倒されました。けれども、それと同時に私の中の考え方も変わりました。慣れない環境の中でたくさんの方の国の方に囲まれながら、母国語ではない言葉を使ってコミュニケーションをとり生活していくのは、私には難しく大変なことのように感じます。

訪問したどの機関でもお聞きした話ですが、国際機関で働いている日本人の割合は他国と比べて圧倒的に少ないそうです。日本は島国であるため大陸国家の人と比べて話せる言語の数が劣っています。そんな中で周りに圧倒されることなく堂々としている日本人の姿に私は刺激を受けました。

そして、将来日本人というプライドを貫きながら多くの外国人と何かを成し遂げられるような仕事に就きたいと思いました。そのためにも今自分にできることに全力を注ぎ込み、悔いの残らない結果になるよう取り組んでいこうと思います。

Reporter



藤島高校 2年 南 部 佑 佳
なんぶ ゆか

国際機関で働く日本人に 学ぶ視察研修会



WIPOにて

8月初旬に県内の高校生を対象に、IAEA(国際原子力機関)、WHO(世界保健機関)、WIPO(世界知的所有権機関)で働く日本人を訪問し、各機関の役割と日本人の活躍について学びました。

エネルギーとこと

安全を確保しつつ原子力利用を進めるためには優秀な技術・人材の確保が必要不可欠です。進学や就職に際し、若い人たちが夢と希望を持って志願できるよう、大学や研究機関の体制を一層充実することが重要です。

福井県経済団体連合会 会長 川田 建 男

福井県環境・エネルギー懇話会
〒918-8004 福井市西木田 2-8-1
福井商工会議所ビル 6F

▶バックナンバーはコチラから

福井県環境・エネルギー懇話会

検索

次回は10月3日(月)掲載予定

視察研修会に参加した高校生が
学んだこと・体験したことを
シリーズで紹介していきます。